

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立美原総合スポーツセンター	
(2) 施設の設置目的	
市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
(4) 指定管理者名	
コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ (コナミスポーツ株式会社、近鉄ファシリティーズ株式会社)	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日(5年間)	
(6) 主な事業	
<p>管理運営に関する業務(利用申込の受付等、堺市スポーツ施設情報システムに関すること、利用料金の</p> <ul style="list-style-type: none">・ 収受、プログラムレッスンの実施、トレーニング機器の調達・管理、駐車場管理業務、人員の配置等、施設利用案内等、苦情・要望対応、その他使用料等の徴収)・ 施設等の維持管理に関する業務(適正な維持管理、備品等の貸与及び購入、施設・備品等の保守点検業務、施設維持管理業務、施設及び備品の原状変更、現地調査の対応)・ 自主事業(スポーツ教室の企画及び実施・その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業・センターへのアクセス及び利便性の向上を図る目的から指定管理者が提案し行うスポーツ振興業務) <p>その他の業務(緊急時等への対応、施設内の目的に適したスペースの活用、統計資料等の作成、関係</p> <ul style="list-style-type: none">・ 機関との連絡調整、堺市のスポーツ推進施策への協力、指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ、業務に必要な規則・マニュアル等の作成、堺市との協議)	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
はびきのコロセアム・美原体育館・美原B&G	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	オーパス施設情報システム等により、特定の団体や個人に偏りがないよう管理運営を行い、年2回の自主防災訓練の実施、全従業員の心肺蘇生法(CPR&AED)ライセンス取得を行った。個人情報保護については、個人情報に関する理解度確認テストを定期的に行い、適正に管理した。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	各時間適正人数の配置を行うにあたり、安全研修・接客研修・トレーニング研修・人権研修・防災訓練などを計画に基づき実施。施設維持管理においても、構成企業の近鉄ファシリティーズ株式会社と連携し、法定点検及び自主点検を適正に実施。
施設の設置目的に沿った事業の実施	利用者のニーズに応じたプログラム提供を行うにあたり、1～3か月毎に内容を見直し、月額料金登録キャンペーンを実施し、地域の方々が登録しやすい取り組みを継続中。また、利便性の向上として送迎バスを運行し地域の方々に対して利用していただきやすい環境を提供している。
その他特筆すべき取組	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市からの指示による施設の休館及び開館時間の短縮要請に対応した。

イ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、ニーズに即した定期的なプログラムの見直しや新規利用者獲得に向けた取組みなどを実施し、また、施設が老朽化しているものの、計画的に修繕計画をたて、職員による施設点検等、構成企業の近鉄ファシリティーズと綿密に連携することで、安心・安全な施設運営につながった。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理者名	コナミスポーツクラブ・近鉄ビルサービスグループ	コナミスポーツ・近鉄ビルサービスグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ
利用者数(単位:人)	258,136	229,894	167,752	156,909	—
稼働率(単位:%)	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	—
利用者満足度(単位:%)	84.0	88.0	82.8	80.9	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、休館・営業時間短縮・利用制限の対応を行う中、より安心して利用頂けるよう、定員運営や施設内感染防止対策を行った。
意見・苦情・要望等への対応	感染防止策に伴う営業時間の短縮や利用制限、経年劣化に対する故障などのお声を頂戴したが、施設の感染対策については業界団体のガイドラインの範囲で行った。また、故障個所の早期対策を実施し、安全に利用できる環境を整えた。
その他特筆すべき取組	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市からの指示による施設の休館及び開館時間の短縮要請に対応した。

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数は新型コロナウイルス感染症影響前の水準には戻らなかったが、スタジオの利用人数制限や業界団体のガイドライン遵守など、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を徹底することで、利用者の安全・安心の確保に努めた。また、14年目を迎える施設として、日々のメンテナンスはもちろん、計画的な修繕計画をたて、適正に施設の維持管理に努めた。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

指定管理者名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
コナミスポーツ・近鉄ビルサービスグループ		コナミスポーツ・近鉄ビルサービスグループ	コナミスポーツ・近鉄ビルサービスグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ
収入	指定管理料	2,498,988	2,521,519	17,392,224	37,660,815	4,046,296
	利用料金	142,180,510	120,096,916	75,955,582	68,551,560	97,211,600
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	1,262,757	1,885,919	922,908	2,424,446	1,264,600
合 計		145,942,255	124,504,354	94,270,714	108,636,821	102,522,496
支出	人件費	54,031,358	51,168,441	49,121,704	44,205,966	53,513,000
	委託料	23,541,840	23,533,994	19,393,148	17,241,743	19,753,148
	総支出額に占める委託料の割合	18.5%	18.6%	16.2%	14.6%	14.8%
	修繕費	3,552,161	2,665,073	2,643,410	3,565,502	5,026,296
	光熱水費	30,761,804	24,511,918	20,138,328	22,766,782	25,300,000
	その他	15,700,689	24,644,101	28,351,479	29,920,091	29,557,548
合 計		127,587,852	126,523,527	119,648,069	117,700,084	133,149,992
収支差額		18,354,403	-2,019,173	-25,377,355	-9,063,263	-30,627,496
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (予算)
収入	31,796,460	23,163,665	21,011,885	20,836,166	29,918,579
支出	32,455,144	24,582,910	21,093,736	20,634,977	32,551,758
収支差額	-658,684	-1,419,245	-81,851	201,189	-2,633,179
(市への納付金の額)	0	0	100,000	100,000	100,000

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	<ul style="list-style-type: none"> 経費の多くを含む電気代について、個別に電力会社との契約交渉と、デマンド設定など利用料を抑える工夫や未利用施設のコマメなON.OFFを実施。 販促業務は紙媒体より費用対効果のあるwebを使用して費用削減に務めた。 指定管理料には市の休館等指示で還付した令和3年度の利用料金等相当分として市が支払った15,176,519円及び堺市指定管理者管理運営継続支援金として支払った19,438,000円を含む。
------------	---

ウ 市による状況分析

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用料金収入は新型コロナウイルス感染症影響前の水準には戻らなかったものの、市からの継続支援金等の補てんがあったことにより、収支差額は前年度程のマイナスとはならなかった。支出において、休館や開館時間短縮の影響に加え、委託内容の見直しを行うことで、委託費が約2,000千円減少した。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者満足	満足度80%以上	80.9%

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
施設利用者数(前年度比2%増)	171,379人	156,909人
スポーツ教室事業参加者数(前年度比2%増)	14,411人	12,373人

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	前指定期間内の年度平均 比1%増 153,900,000円以上	68,551,560円

イ 市による状況分析

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底はもちろん、常に利用者ニーズに沿った事業を展開・見直しするとともに、接客研修等によりスタッフの資質向上に努め、利用者満足度は目標水準を達成した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市からの指示により施設を休館・時短営業したことに伴い、利用キャンセルや退会の申し出を受け、利用者数や利用料金収入が大幅に減少し目標達成とはならなかった。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	前年に引続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館・短縮営業により会員数の減少と都度利用料金収入が大きく減少しているが、感染対策の徹底の継続と、休止者への復帰案内や、短縮営業後の在籍会員獲得施策も強化し、在籍は回復傾向となっている。また人材教育の推進、利用者満足度実績も含めて評価判断した。	新型コロナウイルス感染症の影響による休館や開館時間の短縮により、利用者数や利用料金収入の目標は未達となったが、月額登録を解約された方へ復帰を促す取組や、新規利用者獲得に向けた取組みなど、様々な取組を実施したことは評価できる。また、利用者ニーズに即したプログラムの見直しや、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組を徹底し、利用者の安全確保に努めたことにより、利用者満足度は目標を達成した。
今後の取組	利用料金の最大である在籍会員の回復が重点である為、地域を意識した販促やwebを活用した広範囲への案内を行うと共に、感染対策を確実に実行し、都度利用者の拡大にも努める。	引き続き利用者アンケートなどにより細部にわたる要望や意見を収集し、利用者ニーズに沿った事業展開に取り組むとともに、利用者の安全確保はもちろん、きめ細やかな清掃等により、快適な施設づくりを行うことで、利用者満足度のさらなる向上に努め、利用者増加策を図られたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの

美原総合スポーツセンター 利用率

(単位：%)

施設名	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
美原総合スポーツセンター 多目的グラウンド	平日	41.2	36.8	35.2	26.6
	土日祝	78.4	75.4	78.6	80.8
	計	53.8	50.7	49.6	43.8
美原総合スポーツセンター テニスコート	平日	66.4	62.1	57.5	54.6
	土日祝	96.1	93.6	85.5	93.1
	計	75.6	71.9	66.0	66.5